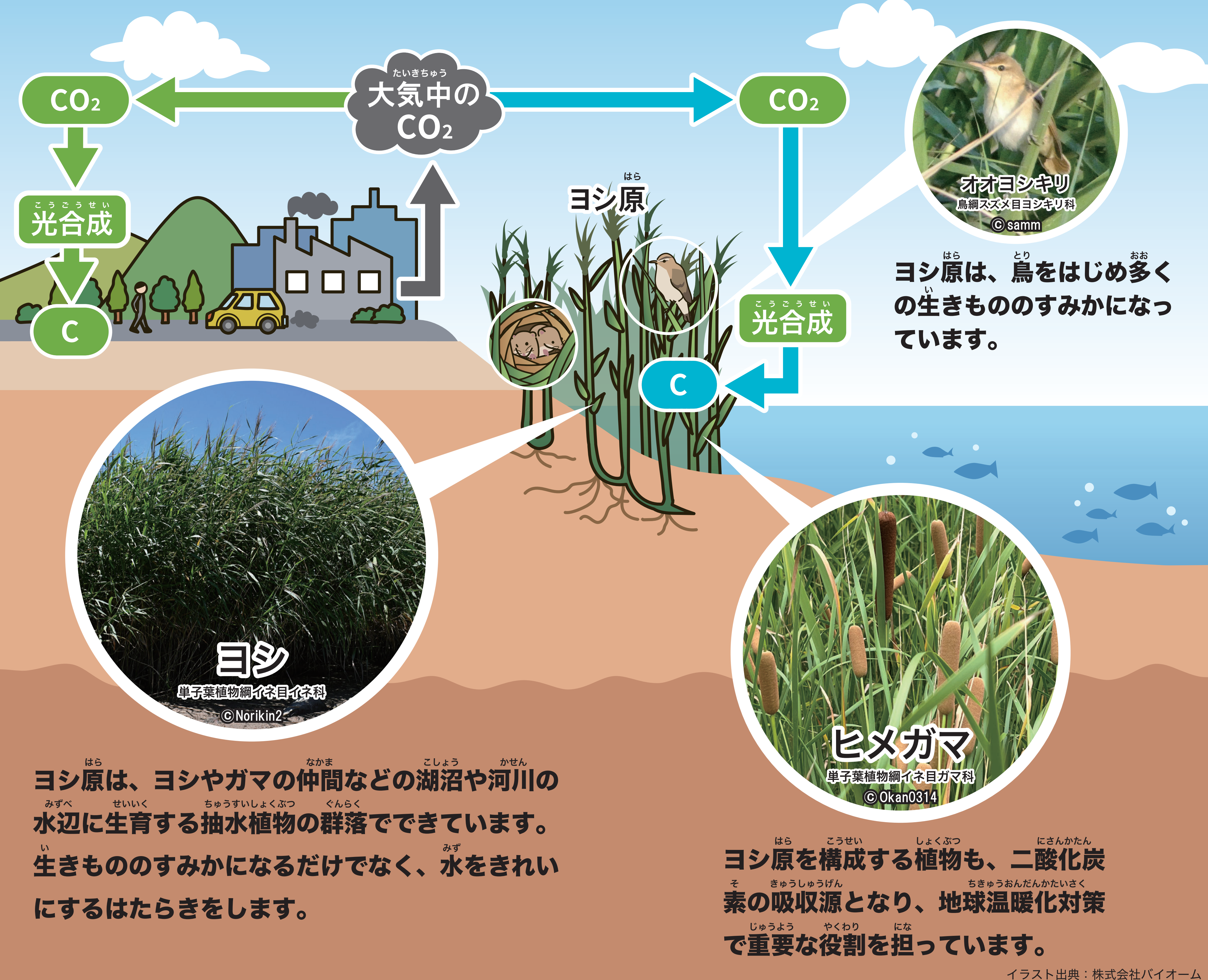


ブルーカーボンで注目のヨシ原

干潟などの海藻や植物プランクトンが光合成などで二酸化炭素（CO₂）から炭素（C）を取り込み、利用する過程で水中の生態系に蓄積される炭素を「ブルーカーボン」といい、地球温暖化の対策として注目されています。



イラスト出典：株式会社バイオーム

大阪市では、令和3年（2021年）3月に、「大阪市生物多様性戦略」を策定し、生物多様性の保全に向けた取組みを進めています。



大阪市生物多様性ロゴマーク



大阪市生物多様性戦略

大阪市では、令和4年（2022年）10月に「大阪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（改定計画）」を策定し、地球温暖化対策の取組みを進めています。



大阪市地球温暖化対策実行計画
（区域施策編）



大阪市脱炭素キャラクター
「ナーナ」